

JA大阪市自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに
JA大阪市は総合事業を展開します。

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献、「自己改革の実践を支えるJAの経営基盤」の確立を目指し、積極的な事業展開と地域に密着したJAを目指してまいります。



協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

- ◆JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開していきます。
- ◆農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ◆農業者以外の方でも、JA各事業をご利用して頂いている方を、JAの応援団として准組合員に加入いただいております。
- ◆信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農経済担当者の配置や、多額の農業施設投資が可能です。
- ◆いわば、組合員と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

JA大阪市の主な取組は次のとおりです。

- 1.) 農業者の所得拡大・農業生産の拡大のため、生産コストの低減と移動販売による各支店の地域への販売力を強化いたします。(販売高目標 6,000万円)
仕入先と協議の上、銘柄集約によるコストの低減と平野の直売所「おいで～菜」は遠いとの声に応えるため、より多くの地域の皆様に地元産農産物を届け、農業振興を図ってまいります。
- 2.) 直売所の顧客獲得展開を図るため、JAカード利用による割引に取り組めます。(器具備品 100万円)
直売所においてJAカードで決済することにより、5%の割引を実施し、10月から予定の消費税増税に対し、さらに3%の還元に対応してまいります。
- 3.) 市内農地を保全するため、受託作業における新規機械装備を導入し、組合員の農業支援に務めてまいります。(機械装置 300万円)
農業生産者の高齢化と相談体制の構築に伴い、農作業受託体制強化に取組み、新規機械装備を導入することにより、作業効率の向上に努めてまいります。
- 4.) 「なにわの伝統野菜」を中心に、大阪市内農業の普及PR活動の強化に努めてまいります。
(営農改善費 10万円)
行政(大阪市)及び企業等と連携の上、各種イベントへ積極的に参加し、大阪市内産農作物の普及PR活動を行い、市内農業のファンを育成し農業応援団の獲得に努めます。各種業者とのつながりを大切にし、伝統野菜農家が一つになり販路拡大に取り組んでまいります。